

# 環境産業の市場規模・雇用規模等の 推計結果の概要について (2015年版)

平成29年7月

環境省 総合環境政策局  
環境計画課

# 環境産業の定義について

## 環境産業とは？

環境負荷を低減させ、資源循環による持続可能な社会を実現させる製品・サービスを提供する産業。

## 環境汚染防止分野

- 大気汚染防止
- 下水、排水処理
- 土壌、水質浄化
- 騒音、振動防止
- 環境経営支援
- 化学物質汚染防止

## 地球温暖化対策分野

- クリーンエネルギー利用
- 省エネルギー化
- 自動車の低燃費化
- 排出権取引

## 廃棄物処理・資源有効利用分野

- 廃棄物処理、リサイクル
- 資源、機器の有効利用
- 長寿命化

## 自然環境保全分野

- 緑化・水辺再生
- 水資源利用
- 持続可能な農林水産業
- 環境保護意識向上

## 環境産業の市場規模等に関する推計について

近年、再生可能エネルギー分野をはじめとして成長しつつある環境産業は、環境負荷低減のみならず、経済成長にも貢献しています。

環境省では、「経済・社会のグリーン化」や「グリーン成長」において重要な役割を担っている環境産業の市場規模等の推計を行っています。

本調査では、環境産業について以下の4項目の推計を行いました。

1. 国内の市場規模の推計

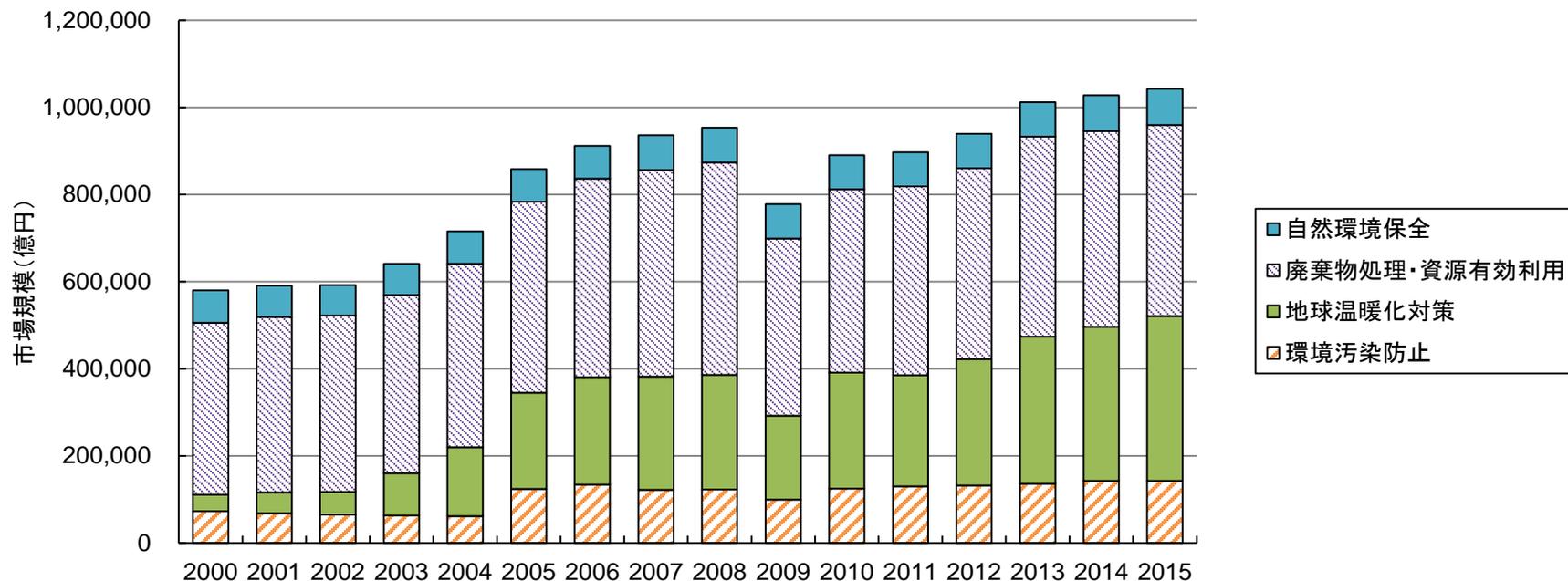
2. 国内の雇用規模の推計

3. 国内の輸出入額の推計

4. 国内の付加価値額・経済波及額の推計

# 1. 国内市場規模の推計結果

● 国内の環境産業の市場規模(推計値)は、2015年に全体で**104兆2,559億円**と**過去最大**となりました。(前年比1.4%増、2000年の約1.8倍)



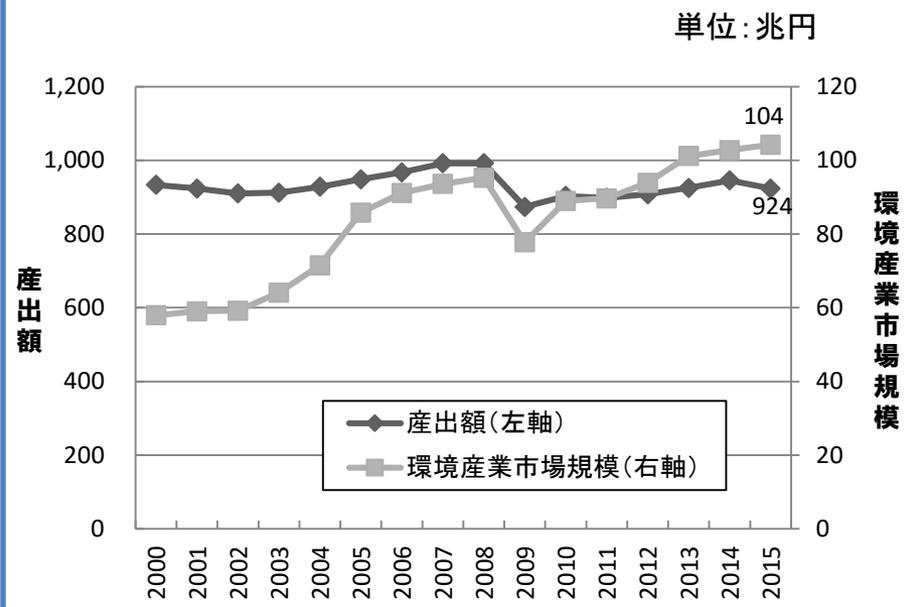
単位:億円

大分類	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
環境汚染防止	72,759	68,327	64,863	62,721	61,719	124,363	134,326	122,128	122,862	99,267	124,649	130,334	132,381	135,823	143,029	143,004
地球温暖化対策	38,306	47,589	52,693	97,385	158,244	220,678	246,515	259,598	262,775	193,117	266,661	254,981	289,490	337,737	353,372	377,561
廃棄物処理・資源有効利用	394,609	402,973	404,749	408,949	421,330	438,178	455,527	474,756	488,083	406,447	420,352	433,014	438,264	459,070	449,000	438,615
自然環境保全	73,969	71,369	69,891	71,992	74,096	75,054	75,332	79,490	79,336	78,902	78,603	78,695	78,982	79,371	82,445	83,379
合計	579,643	590,258	592,196	641,047	715,389	858,272	911,700	935,972	953,057	777,734	890,266	897,024	939,118	1,012,001	1,027,847	1,042,559

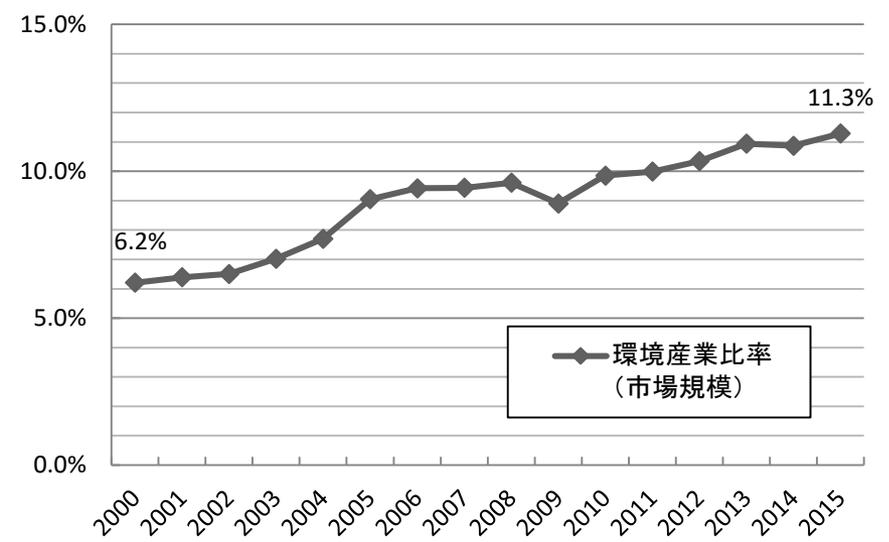
# 1. 国内市場規模の推計結果(全産業との比較)

● 全産業に占める環境産業の市場規模の割合は、2000年の6.2%から2015年の11.3%まで増加し、環境産業が我が国の経済成長に与える影響は大きくなっています。

■ 全産業と環境産業との比較  
(全産業産出額と環境産業市場規模の比較)



■ 全産業に占める環境産業の割合  
(環境産業市場規模 / 全産業産出額)

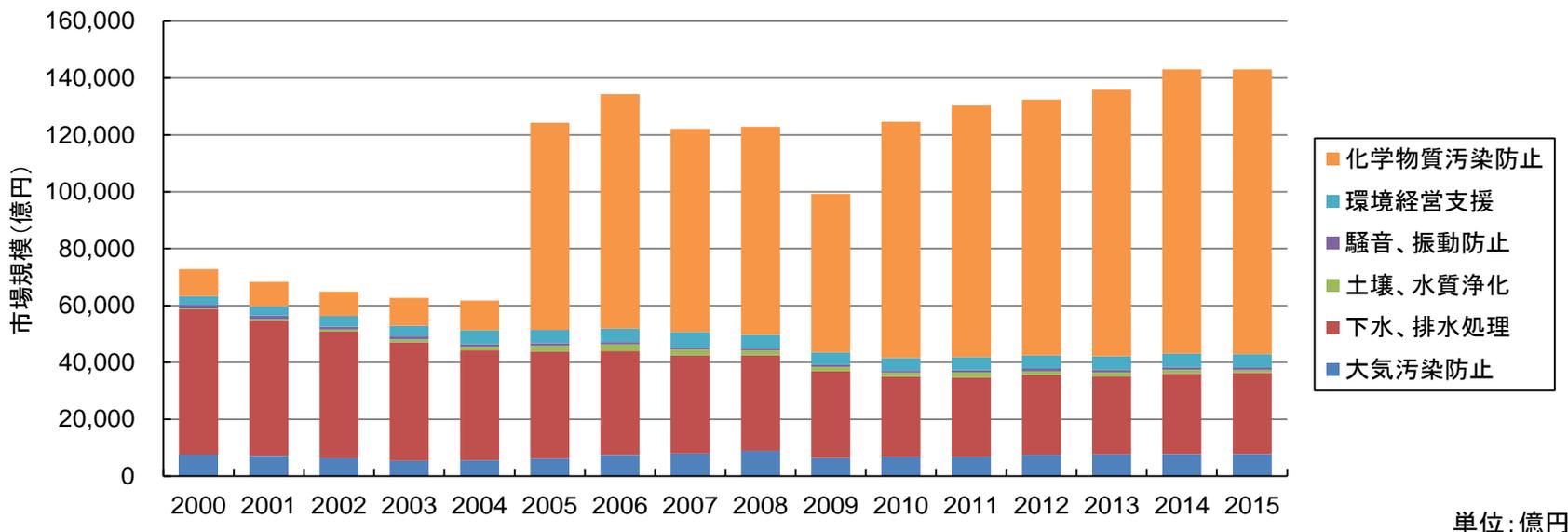


※全産業産出額はSNA「経済活動別財貨・サービス産出表(V表)(名目)」の値によるもの。環境産業市場規模は民間・公的機関等が発表している各種統計に基づき作成しているため、全産業産出額の定義と必ずしも一致しないが、本表は全産業と環境産業の動向を比較するために便宜的に作成したものであることに留意すべきである。

# 1. 国内市場規模の推計結果(分野別)

## A. 環境汚染防止分野

分野全体の市場規模は、公共事業の減少等により2004年まで減少傾向でしたが、2005年以降は、大気汚染の抑制に寄与する「サルファーフリー(低硫黄)のガソリンと軽油」を新たな推計項目として加えたため、「化学物質汚染防止」分野が増加しました。

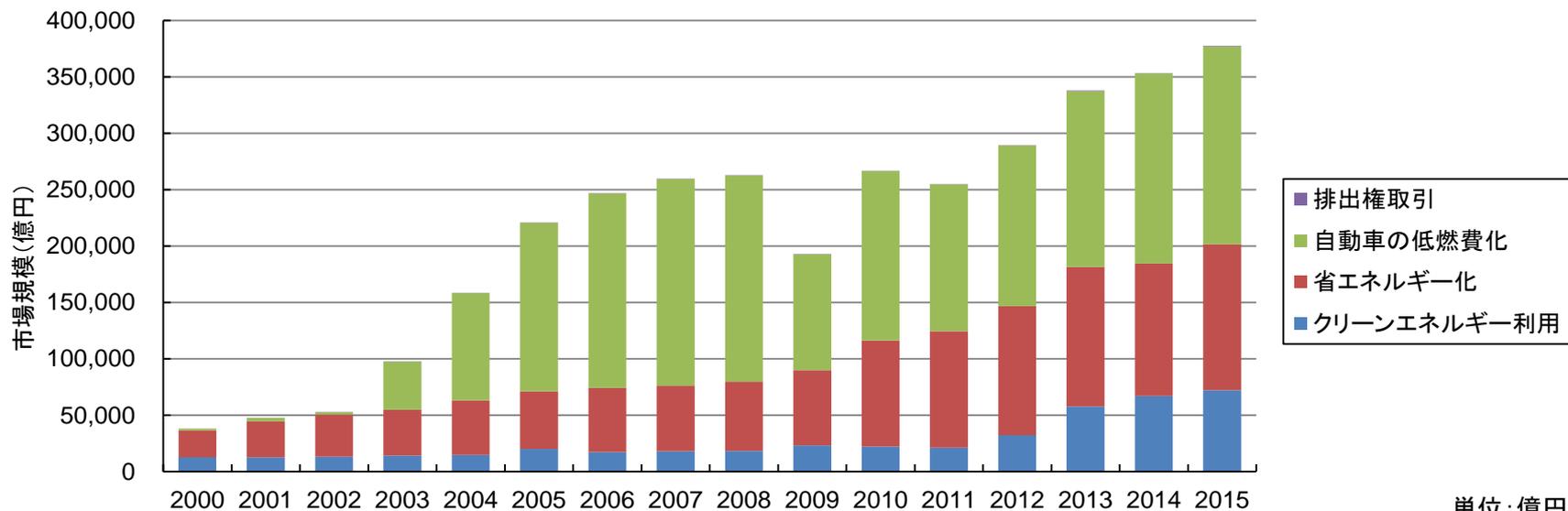


中分類	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
大気汚染防止	7,588	7,213	6,338	5,450	5,657	6,278	7,487	8,038	8,967	6,428	6,827	6,891	7,568	7,757	7,817	7,804
下水、排水処理	51,040	47,478	44,475	41,671	38,590	37,619	36,537	34,482	33,522	30,516	28,252	27,846	28,120	27,349	28,222	28,434
土壌、水質浄化	339	530	721	1,046	1,263	1,985	2,394	1,986	1,720	1,525	1,315	1,782	1,202	1,396	1,373	1,116
騒音、振動防止	1,260	1,192	1,078	981	932	880	828	746	758	762	760	848	955	916	898	789
環境経営支援	3,079	3,255	3,717	3,807	4,916	4,678	4,588	5,536	4,714	4,294	4,430	4,581	4,664	4,796	4,812	4,819
化学物質汚染防止	9,454	8,659	8,533	9,766	10,361	72,922	82,492	71,340	73,182	55,742	83,066	88,387	89,872	93,609	99,907	100,042
合計	72,759	68,327	64,863	62,721	61,719	124,363	134,326	122,128	122,862	99,267	124,649	130,334	132,381	135,823	143,029	143,004

# 1. 国内市場規模の推計結果(分野別)

## B. 地球温暖化対策分野

地球温暖化対策の進展に伴い、分野全体の市場規模は、増加傾向が続いています。2004年以降の「低燃費・低排出認定車」・「ハイブリッド自動車」等の成長により、「自動車の低燃費化」分野が増加しました。2012年以降は、固定価格買取制度等による「太陽光発電システム」等の再生可能エネルギーに関する市場の急成長に伴い、「クリーンエネルギー利用」分野が大きく増加しています。

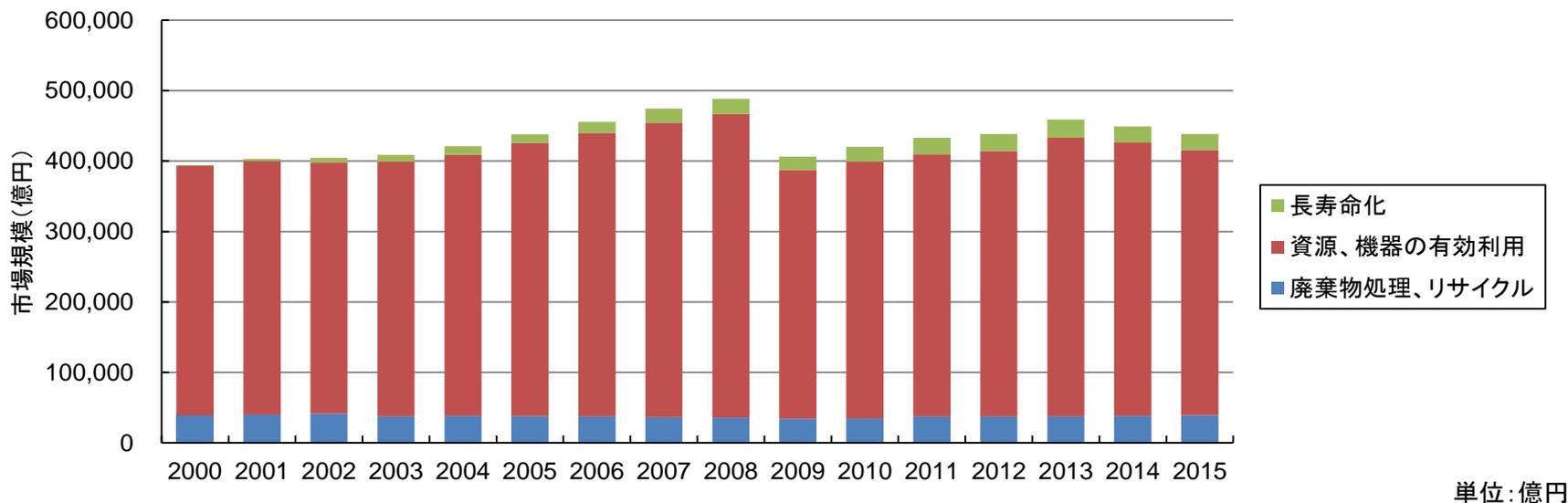


中分類	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
クリーンエネルギー利用	12,731	12,615	13,109	14,118	14,714	20,105	17,387	18,166	18,469	23,276	22,152	21,081	32,258	57,674	66,955	72,255
省エネルギー化	23,871	31,740	37,532	40,875	48,424	51,044	56,882	58,142	61,232	66,652	94,158	103,305	114,269	123,830	117,507	129,267
自動車の低燃費化	1,705	3,234	2,052	42,391	95,104	149,527	172,242	183,261	183,001	102,955	150,070	130,205	142,538	155,773	168,443	175,572
排出権取引	0	0	0	0	1	3	4	30	73	235	281	390	425	461	467	468
合計	38,306	47,589	52,693	97,385	158,244	220,678	246,515	259,598	262,775	193,117	266,661	254,981	289,490	337,737	353,372	377,561

# 1. 国内市場規模の推計結果(分野別)

## C. 廃棄物処理・資源有効利用分野

この分野の市場規模は、4分野の中で最も大きく、2008年まで増加を続けましたが、2009年にはリーマン・ショック後の世界的な景気減速の影響を受けて落ち込みました。2009年以降は、2013年まで成長を続けましたが、それ以降は2013年をピークに減少しています。2014年以降は、リース・レンタルを含む「資源、機器の有効利用」分野が減少傾向にあり、全体を減少させる要因となっています。

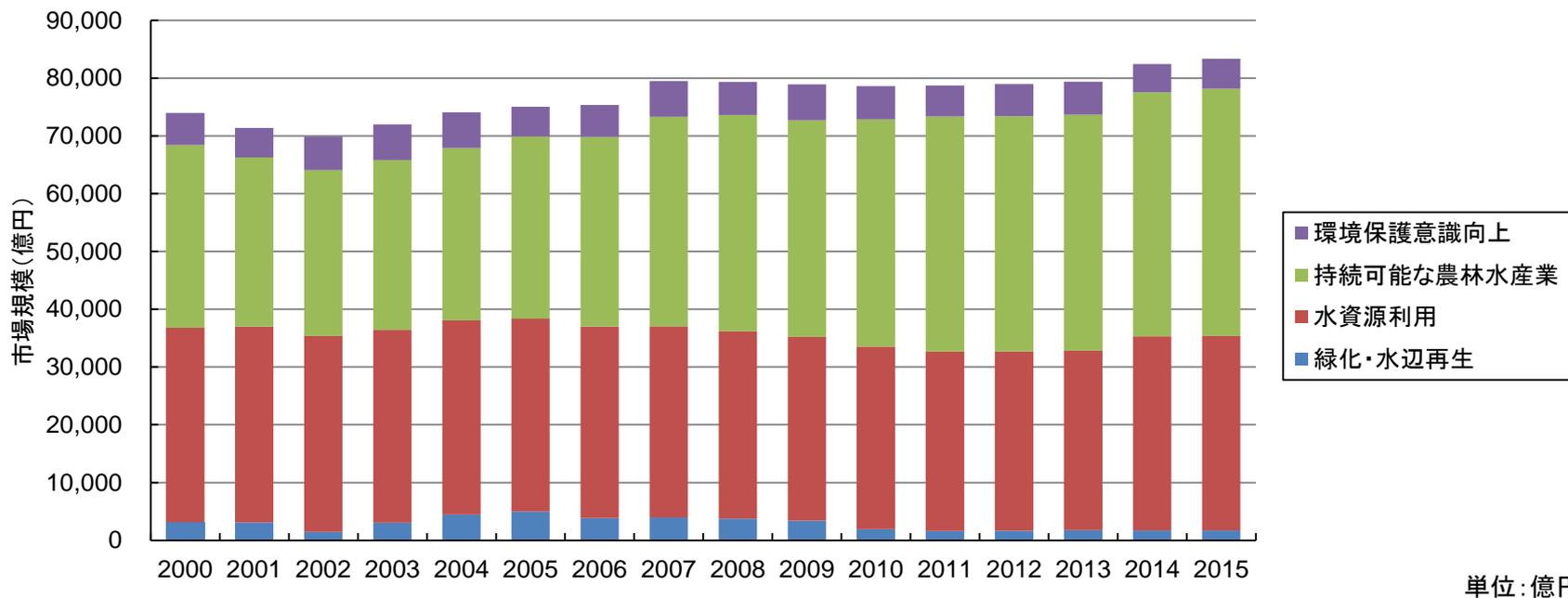


中分類	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
廃棄物処理、リサイクル	39,058	39,935	41,497	37,567	38,369	37,858	37,368	36,434	35,717	34,232	34,783	37,526	37,326	37,522	38,455	39,192
資源、機器の有効利用	354,642	360,200	356,748	362,009	370,540	387,701	402,522	418,142	431,191	353,059	364,534	372,219	376,927	395,592	387,979	376,721
長寿命化	909	2,838	6,504	9,373	12,421	12,619	15,637	20,180	21,175	19,157	21,035	23,269	24,011	25,956	22,566	22,702
合計	394,609	402,973	404,749	408,949	421,330	438,178	455,527	474,756	488,083	406,447	420,352	433,014	438,264	459,070	449,000	438,615

# 1. 国内市場規模の推計結果(分野別)

## D. 自然環境保全分野

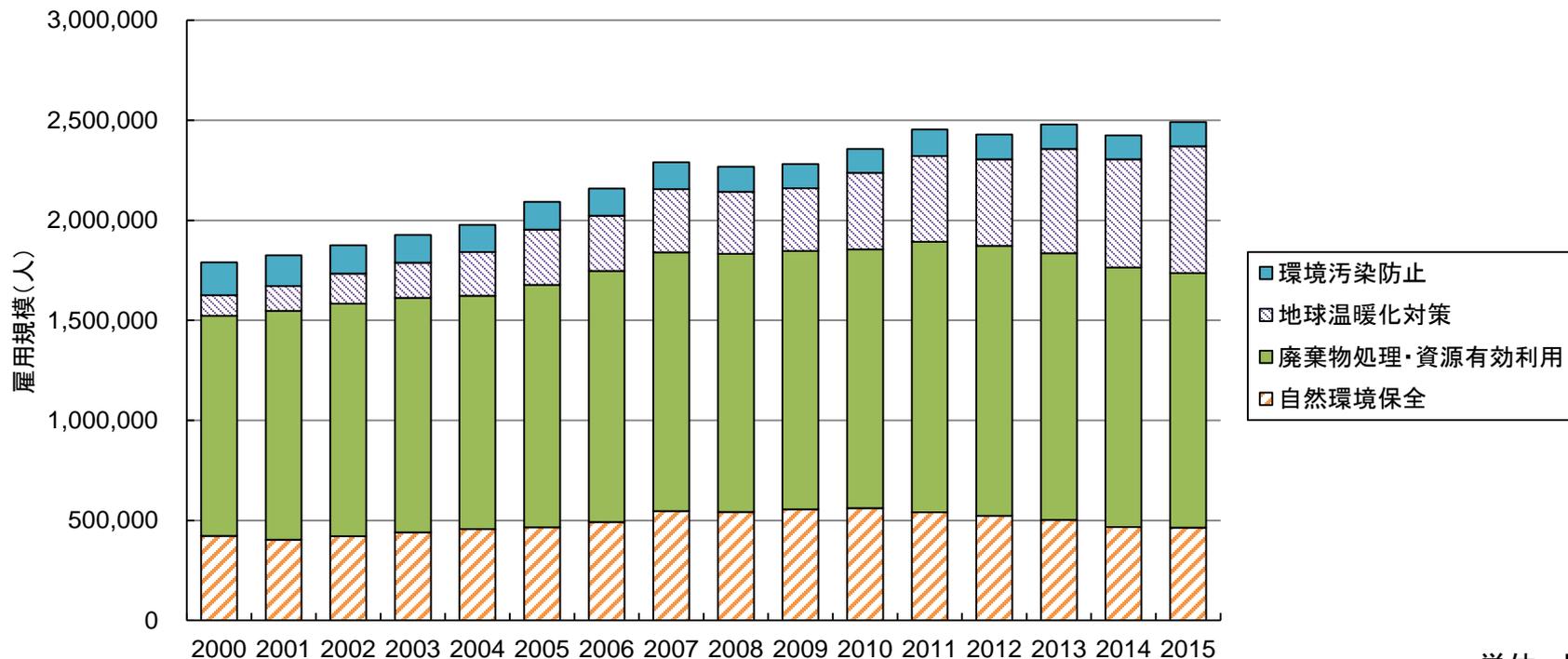
分野全体の市場規模は、小さな増減を繰り返しつつ、緩やかな増加傾向にあります。農林水産省が認定促進を行うエコファーマーを含む「持続可能な農林水産業」分野が2010年以降増加傾向にあります。



中分類	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
緑化・水辺再生	3,146	3,101	1,462	3,021	4,494	4,970	3,854	3,968	3,754	3,385	1,902	1,600	1,667	1,768	1,729	1,707
水資源利用	33,657	33,926	33,891	33,449	33,574	33,413	33,165	33,100	32,410	31,859	31,651	31,097	31,055	31,033	33,613	33,688
持続可能な農林水産業	31,640	29,258	28,754	29,341	29,853	31,505	32,839	36,269	37,468	37,462	39,311	40,663	40,678	40,891	42,207	42,740
環境保護意識向上	5,526	5,085	5,784	6,180	6,174	5,166	5,475	6,152	5,704	6,197	5,740	5,335	5,582	5,680	4,896	5,243
合計	73,969	71,369	69,891	71,992	74,096	75,054	75,332	79,490	79,336	78,902	78,603	78,695	78,982	79,371	82,445	83,379

## 2. 雇用規模の推計結果

- 国内の環境産業雇用規模は、2015年に全体で約249万人と過去最大となりました。（前年比2.7%増、2000年の約1.4倍）

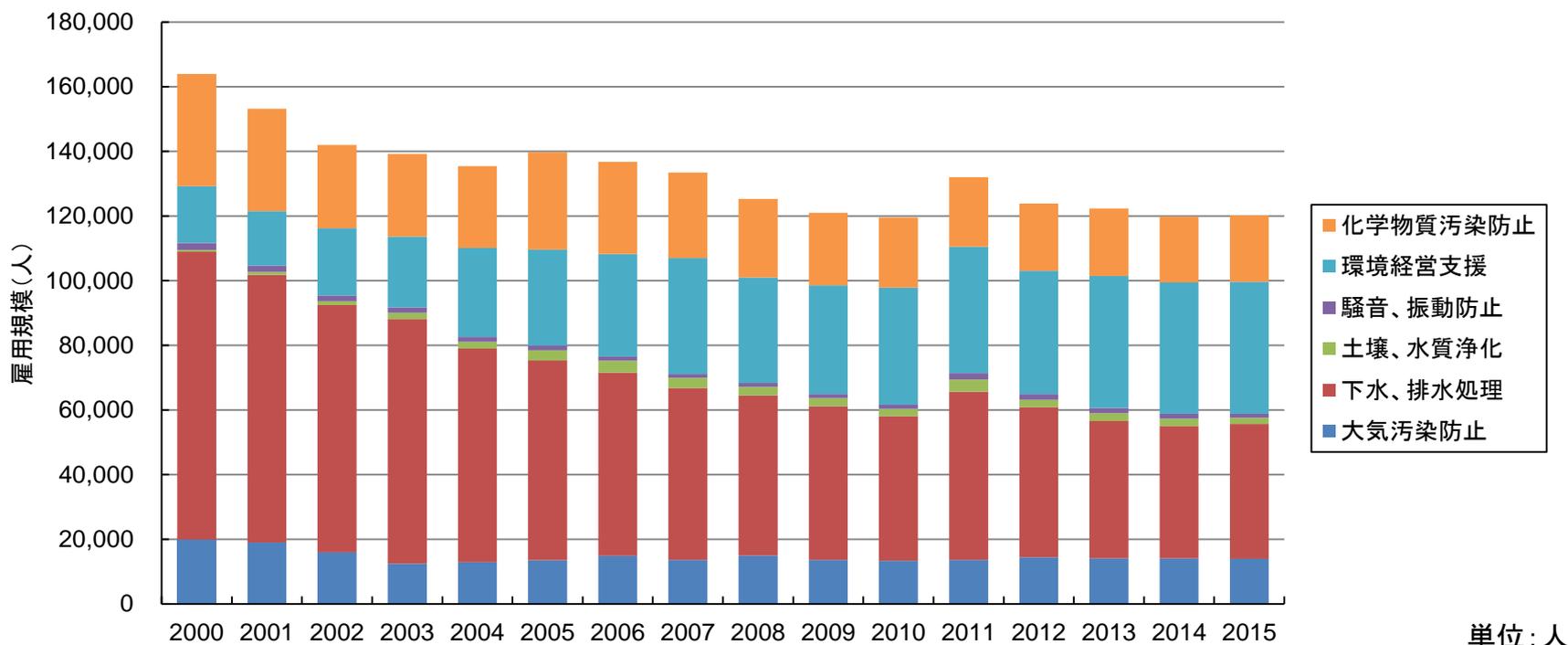


大分類	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
環境汚染防止	163,922	153,209	141,975	139,231	135,427	139,734	136,785	133,448	125,267	120,950	119,537	131,989	123,877	122,302	119,795	120,141
地球温暖化対策	102,956	123,450	151,078	175,387	217,996	275,796	275,983	315,901	309,588	313,676	381,938	428,456	433,269	520,895	540,255	633,516
廃棄物処理・資源有効利用	1,099,548	1,144,880	1,161,036	1,172,644	1,165,878	1,212,048	1,255,490	1,294,146	1,291,138	1,291,984	1,293,715	1,352,496	1,348,718	1,333,595	1,298,306	1,272,435
自然環境保全	422,591	403,212	421,220	439,903	457,139	465,243	491,192	546,312	541,423	554,901	561,010	540,475	523,537	501,927	466,163	464,267
合計	1,789,018	1,824,750	1,875,309	1,927,165	1,976,440	2,092,821	2,159,450	2,289,807	2,267,416	2,281,511	2,356,200	2,453,415	2,429,400	2,478,719	2,424,518	2,490,359

## 2. 雇用規模の推計結果(分野別)

### A. 環境汚染防止分野

分野全体の雇用規模は、増減を繰り返しつつ、緩やかな減少傾向にあります。なお、その中において、「環境経営支援」分野は、2000年以降概ね増加傾向にあります。

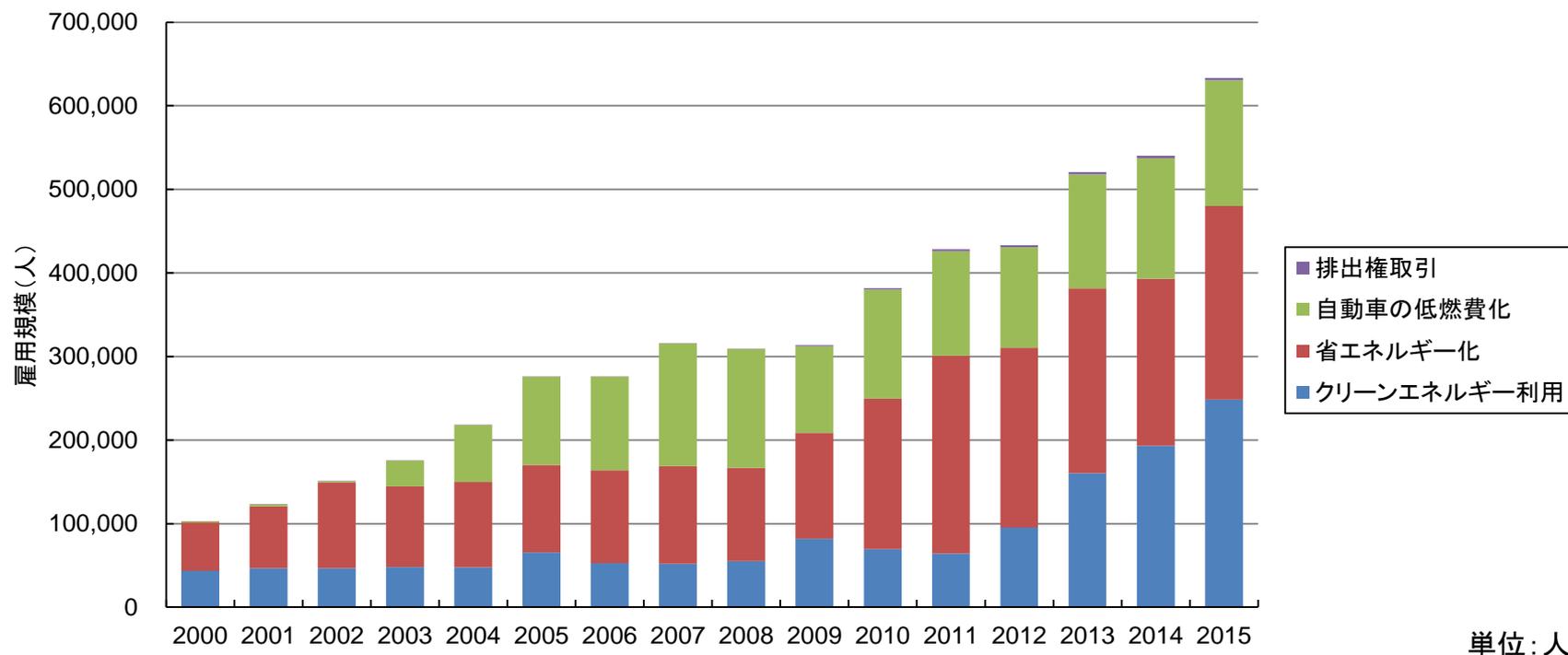


中分類	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
大気汚染防止	19,849	18,990	15,911	12,472	12,853	13,484	14,818	13,608	14,921	13,586	13,350	13,569	14,429	14,022	14,048	14,005
下水、排水処理	89,137	82,826	76,549	75,651	66,108	61,855	56,772	53,174	49,562	47,562	44,726	52,031	46,464	42,587	40,967	41,658
土壌、水質浄化	553	850	1,146	1,871	2,079	3,132	3,631	3,134	2,661	2,533	2,252	3,795	2,208	2,426	2,298	1,903
騒音、振動防止	2,079	1,968	1,784	1,780	1,548	1,402	1,279	1,193	1,176	1,265	1,295	1,966	1,839	1,616	1,487	1,287
環境経営支援	17,578	16,853	20,811	21,829	27,567	29,712	31,788	35,859	32,657	33,651	36,246	39,152	38,104	40,772	40,626	40,753
化学物質汚染防止	34,726	31,721	25,774	25,628	25,273	30,149	28,496	26,479	24,290	22,352	21,669	21,476	20,832	20,879	20,370	20,535
合計	163,922	153,209	141,975	139,231	135,427	139,734	136,785	133,448	125,267	120,950	119,537	131,989	123,877	122,302	119,795	120,141

## 2. 雇用規模の推計結果(分野別)

### B. 地球温暖化対策分野

分野全体の雇用規模は、概ね増加傾向にあります。特に、2013年以降、「クリーンエネルギー利用」分野の市場規模が拡大し続けている(p.6参照)ことにより、同分野の雇用規模が2012年から2015年の3年間で約15万人増加しています。

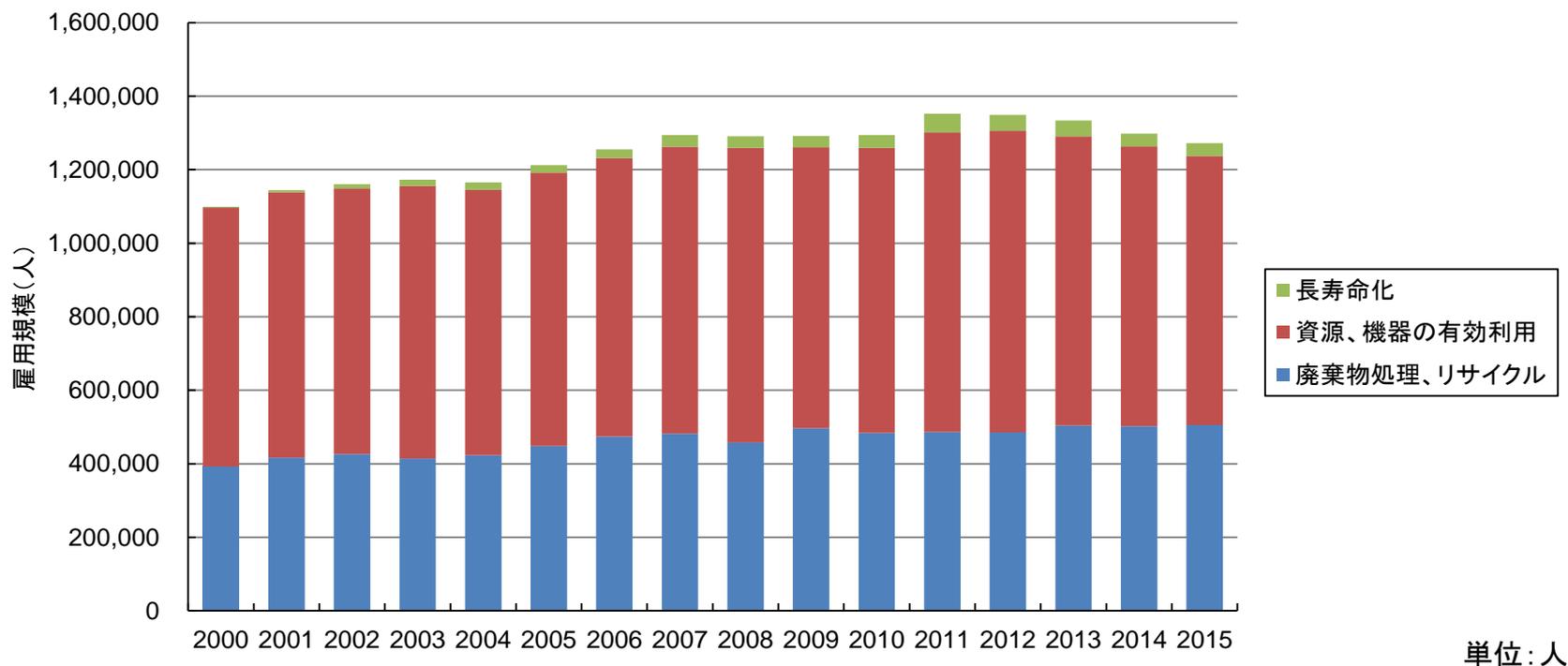


中分類	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
クリーンエネルギー利用	43,617	46,650	46,620	47,929	47,789	65,706	52,524	52,027	55,042	82,021	69,240	64,213	95,260	160,459	193,197	248,601
省エネルギー化	57,816	74,146	102,900	96,569	101,961	104,428	111,220	116,898	111,729	126,590	180,261	236,789	215,295	221,006	199,745	231,470
自動車の低燃費化	1,523	2,653	1,557	30,887	68,238	105,646	112,214	146,790	142,356	103,586	130,668	124,891	120,168	136,508	144,342	150,467
排出権取引	0	1	1	2	8	16	24	186	462	1,478	1,768	2,563	2,546	2,922	2,971	2,978
合計	102,956	123,450	151,078	175,387	217,996	275,796	275,983	315,901	309,588	313,676	381,938	428,456	433,269	520,895	540,255	633,516

## 2. 雇用規模の推計結果(分野別)

### C. 廃棄物処理・資源有効利用分野

分野全体の雇用規模は、2000年以降緩やかに増加し、2007年から2010年まではほぼ横ばいで推移しました。2011年には、雇用規模が再び増加しましたが、2012年以降は緩やかに減少しています。

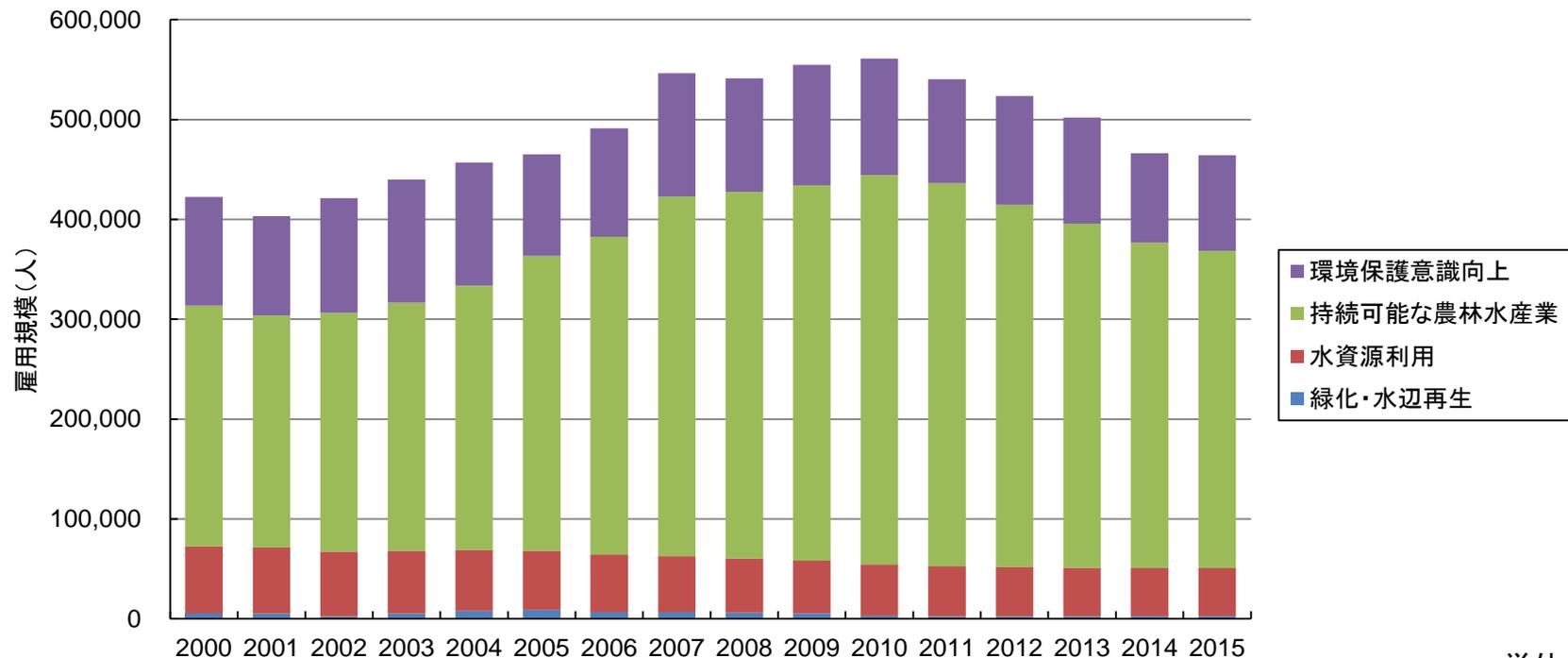


中分類	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
廃棄物処理、リサイクル	392,272	416,493	426,519	414,404	423,480	447,936	473,800	482,303	458,077	496,594	483,754	485,894	485,836	504,294	502,625	505,712
資源、機器の有効利用	704,757	722,400	723,222	741,019	722,123	744,359	758,314	780,425	800,847	764,219	775,170	815,704	820,485	786,325	760,688	731,518
長寿命化	2,519	5,986	11,296	17,220	20,275	19,753	23,376	31,418	32,214	31,170	34,792	50,898	42,397	42,976	34,993	35,205
合計	1,099,548	1,144,880	1,161,036	1,172,644	1,165,878	1,212,048	1,255,490	1,294,146	1,291,138	1,291,984	1,293,715	1,352,496	1,348,718	1,333,595	1,298,306	1,272,435

## 2. 雇用規模の推計結果(分野別)

### D. 自然環境保全分野

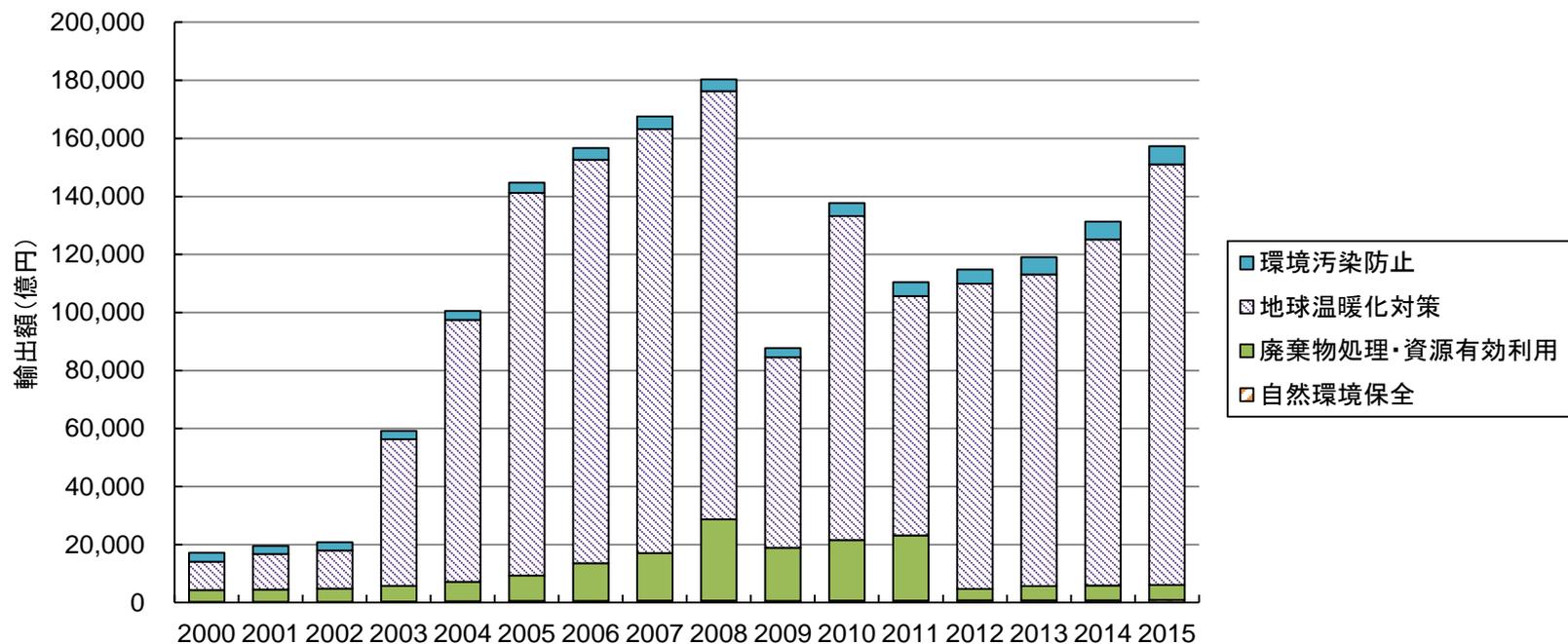
分野全体の雇用規模は、2010年まで概ね増加傾向でしたが、それ以降は減少しています。その内訳としては、「持続可能な農林水産業」分野が大きな割合を占めています。



中分類	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
緑化・水辺再生	5,332	5,256	2,478	5,164	7,749	8,643	6,533	6,560	6,058	5,461	3,069	2,351	2,450	2,598	2,792	2,758
水資源利用	67,187	66,087	64,811	62,996	61,460	59,592	57,943	56,070	54,356	52,817	51,163	50,329	49,375	48,343	47,951	48,077
持続可能な農林水産業	241,044	232,288	239,172	248,358	264,585	295,248	318,115	360,262	367,063	375,833	390,234	383,685	362,884	344,845	325,768	317,753
環境保護意識向上	109,028	99,580	114,759	123,385	123,345	101,759	108,601	123,419	113,945	120,789	116,544	104,110	108,828	106,141	89,651	95,678
合計	422,591	403,212	421,220	439,903	457,139	465,243	491,192	546,312	541,423	554,901	561,010	540,475	523,537	501,927	466,163	464,267

### 3. 環境産業の輸出額の推定

●環境産業の輸出額は、2004年以降に大きく増加し、2009年にはリーマン・ショック後の世界的な景気減速の影響を受けて落ち込みました。2010年以降は、再び増加に転じ、2015年に全体で約15.7兆円となりました。

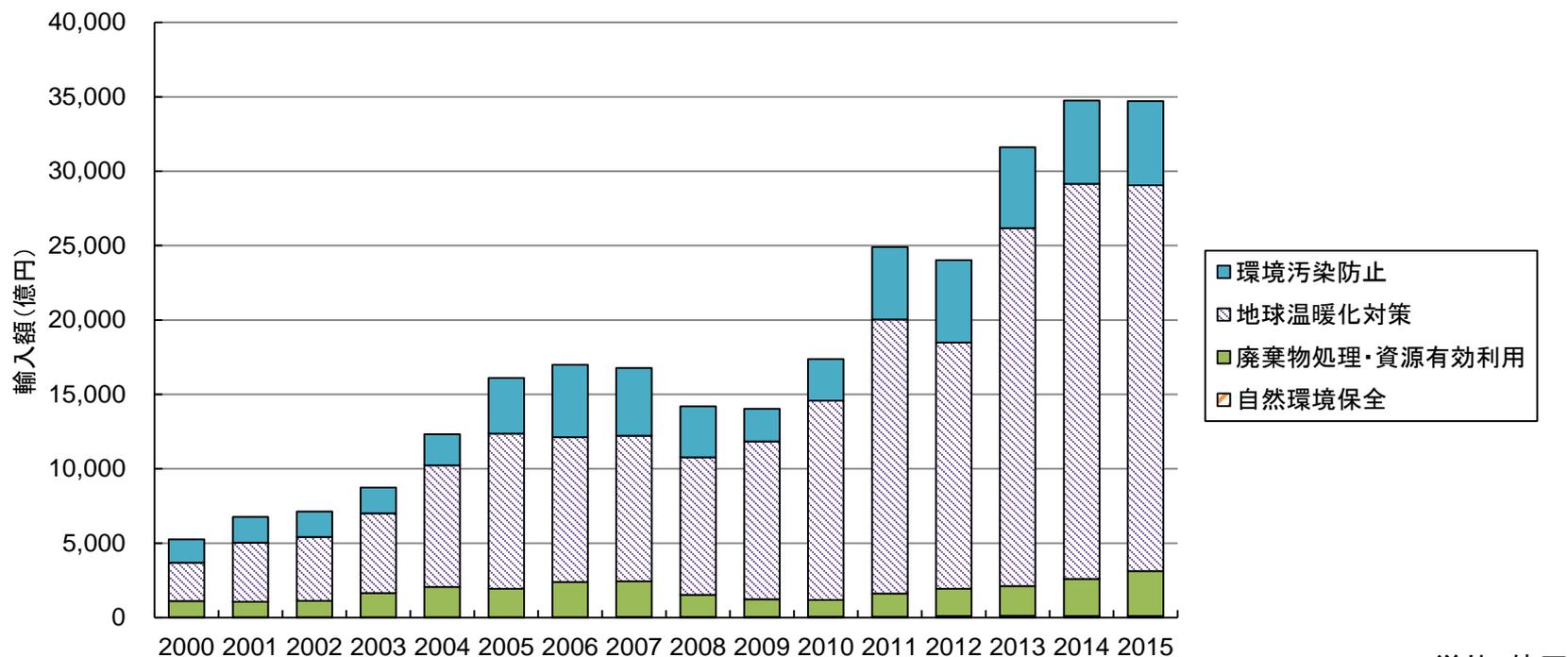


単位: 億円

大分類	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
環境汚染防止	3,005	2,724	2,899	2,893	3,129	3,578	4,018	4,403	4,041	3,197	4,562	4,812	4,841	5,954	6,172	6,269
地球温暖化対策	9,814	12,287	13,056	50,559	90,264	131,852	138,998	146,034	147,552	65,616	111,627	82,497	105,180	107,381	119,222	144,966
廃棄物処理・資源有効利用	4,032	4,253	4,612	5,357	6,716	8,818	13,057	16,437	28,058	18,344	20,836	22,471	3,983	4,967	5,080	5,247
自然環境保全	301	238	273	404	465	540	559	680	657	609	726	674	773	772	825	849
合計	17,152	19,501	20,839	59,214	100,575	144,788	156,632	167,555	180,308	87,766	137,750	110,454	114,777	119,074	131,300	157,331

### 3. 環境産業の輸入額の推定

● 環境産業の輸入額は、景気減速の影響を受けた2009年に落ち込んだものの、それ以降は増加傾向にあり、2015年に全体で約3.5兆円となりました。



大分類	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
環境汚染防止	1,566	1,736	1,713	1,735	2,093	3,728	4,871	4,547	3,423	2,190	2,807	4,879	5,523	5,445	5,598	5,657
地球温暖化対策	2,578	3,969	4,286	5,363	8,168	10,429	9,716	9,792	9,242	10,607	13,383	18,421	16,552	24,050	26,550	25,920
廃棄物処理・資源有効利用	1,085	1,046	1,122	1,632	2,046	1,926	2,376	2,400	1,483	1,192	1,138	1,543	1,837	2,007	2,494	3,016
自然環境保全	19	18	16	15	16	17	22	36	48	48	53	64	103	115	112	112
合計	5,248	6,769	7,136	8,746	12,323	16,101	16,986	16,775	14,196	14,036	17,381	24,907	24,016	31,617	34,753	34,706

# 4. 環境産業の付加価値額の推定

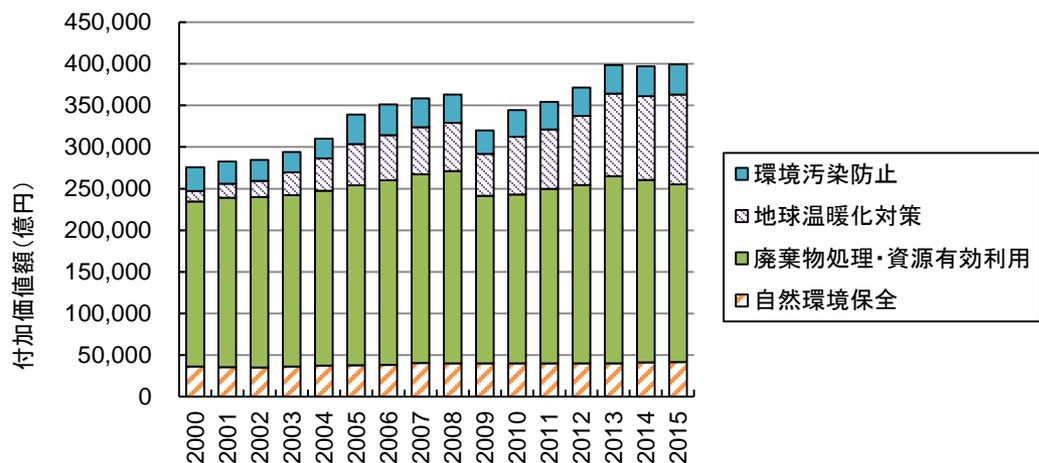
● 環境産業の付加価値額の推移は、市場規模の推移と概ね同じ傾向にあり、2015年に全体で約39.9兆円と過去最大となりました。

## ■ 付加価値額の推計結果

単位：億円

大分類	2014年 市場規模	2015年 市場規模	2014年		2015年	
			付加価値率	付加価値額	付加価値率	付加価値額
環境汚染防止	143,029	143,004	25.2%	36,022	25.2%	35,982
地球温暖化対策	353,372	377,561	28.5%	100,648	28.6%	107,842
廃棄物処理・資源有効利用	449,000	438,615	48.7%	218,876	48.7%	213,462
自然環境保全	82,445	83,379	50.4%	41,516	50.2%	41,821
合計	1,027,847	1,042,559	38.6%	397,062	38.3%	399,107

## ■ 環境産業の付加価値額の推計



単位：億円

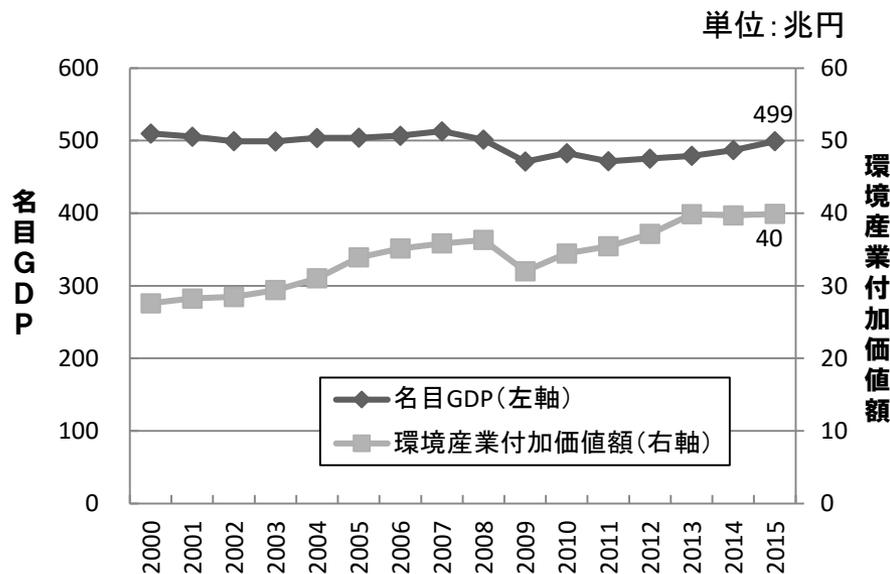
大分類	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
環境汚染防止	28,550	26,693	25,235	24,122	23,724	35,392	37,036	34,545	33,962
地球温暖化対策	12,720	16,553	19,641	27,493	38,724	49,464	54,354	56,451	58,104
廃棄物処理・資源有効利用	198,059	203,658	204,598	205,894	210,039	216,121	221,710	226,978	230,754
自然環境保全	36,479	35,599	35,226	36,466	37,712	38,044	38,320	40,423	40,279
合計	275,807	282,503	284,700	293,974	310,199	339,021	351,420	358,397	363,099

大分類	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
環境汚染防止	28,145	32,261	33,410	33,807	34,568	36,022	35,982
地球温暖化対策	50,624	69,266	71,058	83,061	98,850	100,648	107,842
廃棄物処理・資源有効利用	200,961	202,847	209,801	214,472	225,122	218,876	213,462
自然環境保全	40,315	40,183	40,102	40,079	40,082	41,516	41,821
合計	320,045	344,557	354,371	371,419	398,622	397,062	399,107

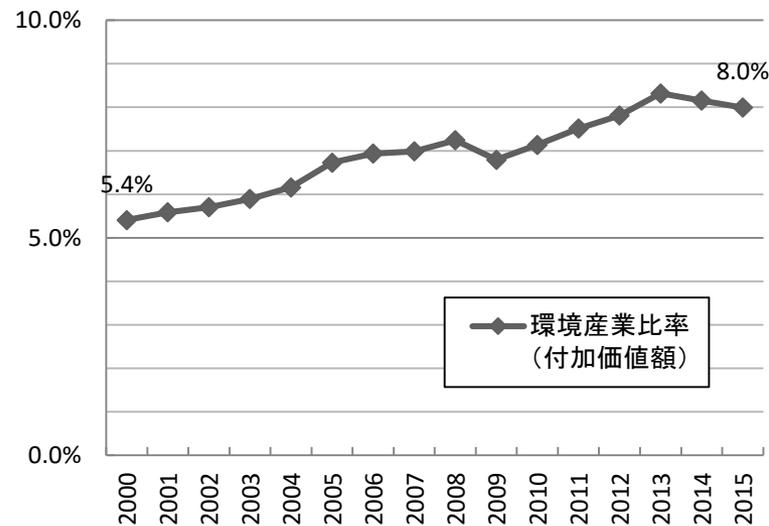
## 4. 環境産業の付加価値額の推定(全産業との比較)

- 全産業の付加価値額(GDP)は、ほぼ横ばいの傾向にあるものの、環境産業の付加価値額は、リーマン・ショック後の世界的な景気減速の影響を受けた2009年を除き、概ね増加傾向にあります。
- GDPに占める環境産業の付加価値額の割合は、2000年の5.4%から2013年の8.3%まで増加しており、付加価値額の側面においても、環境産業が我が国の経済成長に与える影響が大きくなっています。

■ GDPと環境産業付加価値額の比較



■ GDPに占める環境産業付加価値額の割合  
(環境産業付加価値／全産業付加価値額(GDP))



※全産業の付加価値額(GDP)は国民経済計算によるもの。環境産業の付加価値は、環境産業市場規模にそれぞれの産業の付加価値率を乗じて求めたもの。両者の定義は必ずしも一致しないが、本表は全産業と環境産業の動向を比較するために便宜的に作成したものであることに留意すべきである。

# 4. 環境産業の経済波及効果の推定

- 2015年の環境産業の経済波及効果は約206兆円となり、その市場規模と比較しておよそ2倍の規模となっています。
- 環境産業の中で、「リフォーム、リペア」、「エコカー」、「省エネルギー建築」等が経済波及効果の大きい部門となっています。

## ■ 環境産業の経済波及効果

単位：億円

大分類	2015年 市場規模	2015年 経済波及効果
環境汚染防止	143,004	228,088
地球温暖化対策	377,561	795,342
廃棄物処理・資源有効利用	438,615	876,182
自然環境保全	83,379	158,982
合計	1,042,559	2,058,594

## ■ 経済波及効果が大きい部門(上位20項目)

単位：億円

小分類	推計項目	経済波及効果	市場規模
リフォーム、リペア	建設リフォーム・リペア	207,429	99,603
エコカー	低燃費・低排出認定車(輸出分)	197,672	92,874
省エネルギー建築	次世代省エネルギー住宅	146,596	75,421
汚染物質不使用製品	サルファーフリーのガソリンと軽油	132,563	93,928
リサイクル素材	動脈産業での廃棄物受入(鉄鋼業)	124,033	40,769
エコカー	低燃費・低排出認定車(国内販売分)	107,119	50,329
リフォーム、リペア	自動車整備(長期使用に資するもの)	76,747	33,245
エコカー	ハイブリッド自動車	65,927	30,975
上水道	上水道	63,603	33,183
再生可能エネルギー発電システム	太陽光発電システム	60,400	27,627
長寿命建築	100年住宅	44,126	22,702
リサイクル素材	動脈産業での廃棄物受入(紙製造業)	42,716	17,179
資源有効利用製品	中古自動車小売業	41,694	26,012
省エネルギー建築	省エネルギービル	35,060	17,346
省エネルギー輸送機関・輸送サービス	エコシップ	32,673	10,397
資源有効利用製品	資源回収	31,357	16,134
リース、レンタル	自動車リース	30,932	12,817
下水、排水処理用装置・施設	下水道整備事業	29,957	15,343
持続可能な農林水産業	持続可能な森林整備・木材製造	27,905	15,228
廃棄物処理・リサイクルサービス	産業廃棄物処理	26,400	18,044